

こんにちは!

村立東海病院です



安心・安全な医療を提供するため、職員全員で感染症対策に取り組んでいます!

新聞やテレビ等で新型コロナウイルス感染症による院内感染が報じられ、病院に行くのが怖いと感じている方もいるのではないのでしょうか。

村立東海病院では、現在、皆様のご協力と感染症対策の徹底により、懸念される院内感染を防止することができています。今後も皆さんに安心・安全な医療を提供できるよう、職員が一丸となり、感染症対策に取り組んでいきます。今回は、当院が行っている5つの感染症対策を紹介します。

①職員の体調管理の徹底

始業前と終業前に、体温測定と健康状態の観察・記録を行っています。



体調が優れない場合は無理をせず、休養をとるように指導しています

②サージカルマスクとフェイスシールドの使用

院内では、食事をとるとき以外はサージカルマスク(医療用マスク)を着用しています。また、必要に応じてフェイスシールドを使用することで、感染リスクを軽減しています。



飛沫による感染を防ぎます

③手指消毒の徹底

看護師の手指がウイルス感染の媒介とならないよう、手指消毒剤を携帯し、必要な場面で使用しています。



消毒剤は、すぐに手の届くところに!



④共用場所や共有物等の消毒、換気

接触感染を防ぐため、患者さんや職員がよく触れる場所などをこまめに消毒し、清掃しています。また、適時・適切に換気等を実施しています。



職員全員で取り組んでいます!

⑤食事の際の対策

職員用食堂では、食事をとる部屋を増やしたり各部屋の座席数を減らしたりすることで、空間を確保しています。また飛沫防止対策として、テーブル間にアクリル板を設置し、食事時の会話を禁止しています。さらに、配膳時には各自がプラスチック手袋を使用して、感染防止に対応しています。



「3密」にならないよう気を付けています

来院される方へのお願い

来院の際は「体温測定」「マスクの着用」「手指消毒」にご協力ください。

また、風邪・発熱等の症状のある方は、来院前に電話での予約をお願いします。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

